

海洋生物展示学実習 成果物公開展示

日本大学生物資源科学部
海洋生物学科

水族館、市場、大学、公共施設…
海の世界を伝える方法を学び、身に付けよう!

1年次前期（講義） 水族館論 海洋生物の展示を知る

学科教員と水族館職員による15回のオムニバス講義で、水族館を深く知り、展示を見る力を身につける!

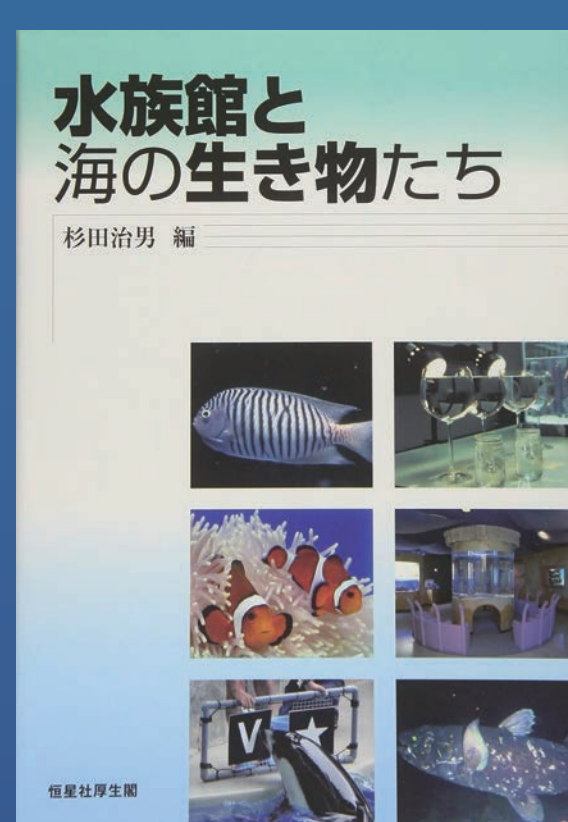
水族館のすすめ、サンゴ礁学、鯨類の飼育、魚病、運営...等々。



1年次後期（講義） 海洋生物展示学 海洋生物の展示を理解する

展示の業務経験がある教員によって、海洋生物展示を深掘りし、展示計画の基礎となる知識を身に着ける!

海洋生物展示施設の運営形態や動物福祉、飼育展示の基礎、海洋生物展示の歴史、解説と教育、展示評価、標本展示、デジタル技術の活用、様々な展示形態...等々。



2年次夏期集中（実習） 海洋生物展示学実習 海洋生物の展示を自分で作れる

第1週

情報収集

既存展示の意図や構造を読み取り、1年次で学んだ「知識」を「経験」へ!



第2週

立案・計画

展示の肝! 知識と経験を活かして、なかまと一緒に企画を作る! 企画を発表する!



第3週

作製

議論を重ねたら、計画に沿ってアイデアを現実に!
何を、誰に、どうしてももらうための展示なのか。



展示 「観覧者」あってこそ「展示」 「生物多様性」あってこそ「海洋生物展示」

時間、予算、場所、物、知識…。

限られた条件の中で、どんな展示が完成したでしょうか (担当教員も予想が付きません)。

来場の皆様もぜひ、各展示を評価してみてください。

そもそも「海洋生物の展示」とは…?

「展示」という言葉は、「陳列物に意味を持たせること」や「展示者と観覧者との間で五感を通じた積極的なコミュニケーションが行われること」などの行為や現象を指すようです。展示が成り立つためには、「魅力」が備わっている必要があることも外せません。

海洋生物を対象とする展示では、「水の世界という非日常の体験」や「珍しい物に対する好奇心」に加えて、時代的には「生物多様性の保全と利用」「社会教育」「生命倫理や動物福祉」といった、多様な目的や社会的責任に考慮する必要があります。

「展示と陳列は何が違うのか」「誰のための、何のための展示なのか」「この展示の魅力は何なのか」「美術館と水族館の違いは何か」など、皆さんも是非、「海洋生物展示」について私たちと一緒に考えてみてください。

その他活動の様子も
学科公式SNSで紹介中!
フォローお願いします!



X (旧 Twitter)



Instagram